



たかの
高野たけし

無所属 49歳

逗子市議会議員（5期）

- ・教育民生常任委員会
- ・議会運営委員会

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

令和4年第1回定例会（1月31日～2月25日）において、市長より示された来年度の施政方針及び予算案に対する代表質問を行いましたので、その一部をご報告いたします。

エッセンシャルワーカーの感染・自宅待機に備えよ

未だ収束を見ない新型コロナ対策として、ワクチンのスムーズな接種をはじめ、市民や事業者に対する支援策が来年度予算にも盛り込まれていますが、現在の第6波のような爆発的感染拡大を経験している今だからこそ、本市の行政運営においても市民生活に支障をきたすことがないよう備えておく必要性を感じています。

市職員全般に言えることですが、特に保育士や給食調理員、消防士、ゴミの収集・焼却作業職員など、生活に密接した職にあるものが新型コロナウイルスや濃厚接触者となり、療養や自宅待機となってしまった場合においてもその業務を滞りなく行うために、職員の応援派遣計画を作成するなど事前に対策を講じておくことを提言したところ、職員の感染予防の徹底はもちろん、BCP（事業継続計画）の見直しも含め行政運営が停滞することがないように対応していくとの回答が市長よりありました。

また、3月以降には5歳から11歳の小児への接種も予定されていることを踏まえ、事前相談窓口を開設するなど、不安や疑問を解消するための準備をしているのか質したところ、より多くの情報を集めた上で準備を進めていく旨の回答が担当部長よりあったところです。

政治資金の残り 58,205円

（令和4年1月～2月の内訳）

支出…ポスター掲示用両面テープ 5,380円

就業環境の面からも保育士をサポート

市の補助制度を活用した民間保育所園舎の建て替え工事が来年度実施されることで、令和5年度より希望者の多い0歳児と1歳児クラスの定員が増員される予定となっておりますが、今回の取り組みだけでは待機児童の解消に至るものではないため、引き続き待機児童対策を行なっていく必要があります。

待機児童対策において、全国的な課題となっているのが保育士の確保です。そこで、保育士の相談サポート窓口の設置やデジタル化による業務量の圧縮など、就業環境の面からも保育士をフォローすることを提案したところ、どのような方法があるのかも含めて検証し、保育士のさらなる負担軽減策に取り組んでいきたいとの回答が担当部長よりありました。



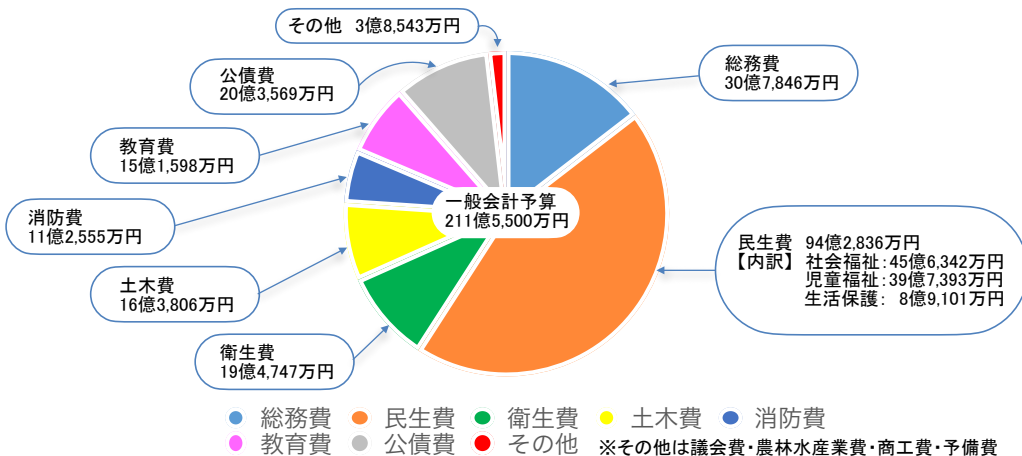
崖地安全対策工事の鍵は補助メニューにあり

主要な市道に隣接する崖については令和2年度に一斉点検を実施し、危険性が確認された公有地についてはすべて安全対策が施されています。ただし、私有地に関しては未だ安全対策が行われていない場所も残っていることから、今後の対応について質したところ、市長からは定期的な経過観察を行いながら、早期の対策を土地所有者に求めていきたいとの回答がありました。

現行の補助制度に加え、複数年の貸付制度の導入など、さらなる補助メニューの創設が早期対応の鍵になると考えています。



～ 令和4年度一般会計予算 ～



来年度の新たな取り組み

*カーボンニュートラル実現への挑戦！

脱炭素社会の実現に向けて「温暖化対策実行計画」を改定し運用をスタート。
 公用車として導入する電気自動車を、土・日・祝日は一般の方に貸し出しカーシェアリング。

*元気な高齢者を目指そうプロジェクト！

健康づくりのための活動をサポートするとともに、ICTを活用して健康データを分析・活用。

*子どもたちを守るため、安全な教育環境を作ろう！

学校や関係団体からの要望を踏まえ、市立小中学校・市立保育園全てに防犯カメラを設置。

*提供方法の変更で、より美味しく、温かい中学校給食に！

現行のボックスランチ方式から、アレルギーにも対応できる食缶方式に9月から変更。

*元気いっぱい、笑顔あふれる公園に！

現在使用できなくなっている遊具のある6つの公園において、遊具の更新・修繕を実施。

*オンライン化とキャッシュレス化で便利な窓口に！

住民票・印鑑登録証明書の発行に24時間受付可能な電子申請と、税や戸籍の窓口で受け取る証明書類の交付手数料払込にキャッシュレス決済レジを導入。

*自治体間広域連携で効率化をアップ！

下水処理場の老朽化に伴い、葉山町と汚水処理の広域連携に向けた調査をスタート。

どーなってるの？

■ 子どもたちが安心して遊べるように安全対策工事をしてほしい

久木1丁目地内にある「ふれあい公園」の滑り台横斜面地が崩れ、規制ロープが張られて半年以上が経過。この公園は傾斜地に位置しており、滑り台の滑り口側にあたる部分は全体的に高台になっているため、滑り台を使用する時以外にも危険箇所付近に子どもたちが集まったり通過したりすることになります。安全面を考えて早期の改修を担当所管に要望した結果、今年度中に対策工事が実施されることになりました。



■ 深夜に津波注意報・警報が発令された時どこに逃げたらいいの？

津波注意報(津波予測20～100cm)の場合、避難ビルの開設は行わず「海に近づかないようにしてください」とのアナウンスにとどまることとなっていますが、津波警報(津波予測101cm以上)の場合は津波ハザードマップに記載のある複数の避難ビルにおいて早朝・深夜でも避難できるよう協定を結んでいます。しかしながら、ほとんどの避難ビルは屋外避難で飲料水のみ備蓄状況となっていることから、長時間の屋外避難が可能となるための整備、できれば屋内への避難も可能となるよう避難ビル側との協議を担当所管に求めたところ、屋内避難や備蓄品の拡充などについては避難ビルに申し入れていきたいとの回答をいただいたところです。

■ 突然の大雪に対応できるよう、地域で使える融雪剤があればいいのに

1月6日に降った雪の影響により、日陰などでは数日間にわたり路面が凍結する事態に。私のところにも市民の方から塩化カルシウムなどの融雪剤を求める声が届いたことから、市の担当所管と今後の対応を協議。来年度から自主防災組織の「防災資機材購入費の補助」として取り扱うことになりました。思いもよらない降雪や凍結などに対し、各地域で柔軟に対応していければと思います。

